



〒930-8555 富山県五福 3190 都市デザイン学部 学務課  
Tel. 076-445-6698 E-mail : tdesign@adm.u\_toyama.ac.jp URL : <https://sus.u-toyama.ac.jp>

富山大学の学際融合教育プログラム 「**全学横断 PBL**」

2021

University of Toyama : Design Thinking Education  
デザイン思考 × 専門性 = 社会に求められる人材





## はじめに

「全学横断PBL」は、全学部の学生を対象とし異なる専門教育を受ける学生達が混成チームを組み、デザイン思考による協働(ワークショップ)を通じてイノベティブな課題解決を目指す授業です。個々の学部の中では狭くなりがちな視野や発想の幅を拡げ、異なる専門性を有する者同士のコミュニケーションがいかに重要で効果的なものであるかを体験的に学修するため、学内のみならず企業や行政とも連携し、産官学金の協働によるクリエイティブなワークショップとなっています。

### ●授業の進め方について

共通目標は、「富山の地域循環共生圏」創りとし、関連した12のテーマに取り組んでもらいました。テーマ毎のメンバーは、他学部の学生を含んだ6人で構成。

連携企業・行政、協力教員、授業担当教員の皆様には、主に『先輩の生活者として』グループワークに参加。初日、2日目の午後に設けているコーヒータイト(相談タイム)においては、それぞれのブースにおいて『専門家の立場として』各グループの相談に答え、アドバイス等をいただく。

※相談タイムを有効に生かすための参考情報として、事前に連携企業・行政、協力教員、授業担当教員には、自社・自身の専門に加え、相談に答え・アドバイスできるテーマおよびキーワードを提示していただき、その一覧表を学生に配布。

※本番の集中講義に向け、履修学生の皆さんの参考となる共通目標や各テーマに関連する講演(3回のプレ・レクチャー)を事前プログラムとして企画。

## 2021「全学横断PBL」タイムライン

9月24日(金)		9月27日(月)		9月28日(火)		9月29日(水)	
8:00	スタッフ集合	8:00	スタッフ集合	8:00	スタッフ集合	8:00	スタッフ集合
8:45	参加者入室許可開始	8:45	参加者入室開始	8:45	参加者入室開始	8:45	参加者入室開始
9:00	オープニング(学長挨拶/15分)	9:00	全体説明(矢口/20分)	9:00	全体説明(矢口/15分)	9:00	全体説明(矢口/15分)
9:15	全体説明(矢口/30分)	9:20	ミニ・レクチャー(60分)	9:15	グループワーク(75分)	9:15	グループワーク(プレゼ資料作成)(75分)
9:45	アイスブレイク(安江/30分)						
10:15	グループワーク(105分)	10:20	グループワーク(100分)		(休憩/15分)		(休憩/15分)
					グループワークまとめ(75分)		グループワーク(プレゼの準備)(75分)
12:00	昼食	12:00	昼食	12:00	昼食	12:00	昼食
13:00	協力企業・団体(教員)の紹介	13:00	中間発表(各Gの進捗共有)	13:00	グループワーク(プレゼ/コンテ)(80分)	13:00	発表(前半)(80分)
14:00	グループワーク(60分)	14:00	グループワーク(60分)		(休憩/20分)		(休憩/20分)
15:00	コーヒープレイク(相談タイム/60分)	15:00	コーヒープレイク(相談タイム/60分)		グループワーク(プレゼ資料作成)(80分)		発表(前半)(80分)
16:00	まとめ・振り返り(30分)	16:00	まとめ・振り返り(30分)	16:00	まとめ・振り返り(30分)	16:00	振り返り/閉会式(渡邊学部長挨拶/10分)
16:30		16:30		16:30		16:30	

富山大学の学際融合教育プログラム「全学横断PBL」開講に向けた

Online Pre・Lecture to Design Thinking Education

## オンライン プレ・レクチャー

「全学横断PBL」は、9月24日(金)～9月29日(水)までの4日間、集中講義で実施されます。開講に向け、学生の皆さんに参考にしていただき、本番までのモチベーションアップにつなげてほしいとの考えから、今回取組んでもらう下記のテーマ、共通目標である「富山の地域循環共生圏」に関連する内容の講演を、事前プログラム（3回のプレ・レクチャー）として企画しました。

プレ・レクチャー1

8.21(土)13:30～15:00

## 『22世紀に向けた新しい村創り人創り』

前田 大介氏

前田薬品工業(株)  
代表取締役社長

1979年富山県上市町生まれ。同志社大学商学部卒業後、会計事務所を経て2008年に前田薬品工業に入社。2014年に三代目社長に就任。経営手腕を発揮し、瀕死の危機にあった同社を急成長させる。製薬会社の経営者として走り続けながら、ハーブを軸とした美と健康の体験型施設「Healthian-wood (ヘルジアンウッド)」を2020年にOPEN。日本と富山の未来を描き、新たなプロジェクトに挑み続けている。



プレ・レクチャー2

8.28(土)13:30～15:00

## 『地域を見る第3の目、第4の目』

林 尚史氏

(株)ディスカバリー・ジャパン  
取締役プロデューサー

地域に関わるライフスタイル誌の広告企画を経て、ファッションの創刊を手掛けたのち、2013年に日本の魅力を再発見をテーマにした雑誌、Discover JapanのBtoB,G事業責任者に着任。フランス・パリにおけるイベントプロデュース等を手掛ける。株式会社ディスカバリー・ジャパンを設立し、2018年11月より現職。日本、地域に関わる事業立案、プロデュースに取り組んでいる。



富山県とやま館アドバイザー・富山県中山間地域域域創生戦略検討委員、江東区ブランド認定審査員、岐阜県美濃加茂市総合戦略アドバイザー、経済産業省WONDER500実行事務局等を歴任。

趣味は、レストラン巡りと、建築巡り。今まで特に感動したレストランは、世界一に4度輝いたレストラン、デンマーク「noma」。建築は、フィンランドの建築家アルヴァ・アアルトの「マイルア邸」と「アトリエ」。

Discover Japan とは？



## 『コンパクトシティ施策とウォークラブルなまちづくり』

高月 直也氏 富山市活力都市創造部推進課 主査

1983年富山県富山市生まれ。2児(5歳・3歳)の父。新潟大学を卒業後、2006年に富山市役所へ建築職として入庁。都市計画課や国土交通省都市局市街地整備課(派遣研修)などで都市計画やまちづくりに関する業務に携わり、建築職としては小学校や体育施設、文化施設をはじめ、富山駅南口駅前広場のバスシェルターなどの公共施設の設計・監理を担当。2019年より、現在の活力都市推進課に配属。3年目を迎える。同課では、都市分野でのコンパクトシティ政策に関する企画・立案・分析等の業務や歩くライフスタイルの推進(「とほ活(=富山で歩く生活)」)に関する業務に従事。  
とほ活 URL: <https://tohokatsu.city.toyama.lg.jp>



## 『「脱酸素×地方創生」の推進～ゼロカーボンの概要と富山市の取組～』

東福 光晴氏 富山市環境部環境政策課 主幹

1974年富山市生まれ。1997年東北大学文学部哲学科卒業。富山市役所入庁後、市民部、都市整備部、企画管理部を経て、2009年政策研究大学院大学修士課程を卒業。2015年4月より環境政策課にて環境未来都市プロジェクトを担当。2018年よりSDGs未来都市計画に関わる事業に携わる。2021年にゼロカーボンシティの表明に併せて、脱炭素実現に向けた富山市エネルギービジョンの策定及び各種施策を担当している。富山大学大学院理工学教育修士課程「特別講義(地域学)」講師。  
富山市環境政策課 URL: <https://www.city.toyama.toyama.jp/kankyobu/kankyoseisakuka/kankyoseisakukakihon.html>



## 『未来共創～若者達の“挑戦”が地域の未来を創る～』

中村 圭勇氏 富山市企画管理部未来戦略室 室長代理

1977年高岡市生まれ。2000年富山大学教育学部卒業。2001年に富山市役所入庁後、2008年4月から2010年3月まで民間派遣により三井物産㈱に出身し、穀物ビジネスに従事。帰任後は、農政企画課にて農業の6次産業化、環境政策課にて環境未来都市プロジェクト、富山駅周辺地区整備課にて富山駅周辺活性化、行政経営課にて公共施設PPP/PFIを担当するなど主に官民連携事業に従事。2019年に市長特命事項について調査・検討する庁内タスクフォースで企画・提案した「とやまシテラボ」プロジェクトが採用され、2020年4月より未来戦略室にて事業化。現在、鋭意プロジェクトを推進中。  
「とやまシテラボ」プロジェクト(未来共創) URL: [https://www.city.toyama.toyama.jp/kikakukanribu/miraisenryaku/mirai\\_kyoso.html](https://www.city.toyama.toyama.jp/kikakukanribu/miraisenryaku/mirai_kyoso.html)  
Sketch Lab(スケッチラボ) URL: <https://sketch.lab.city.toyama.toyama.jp>

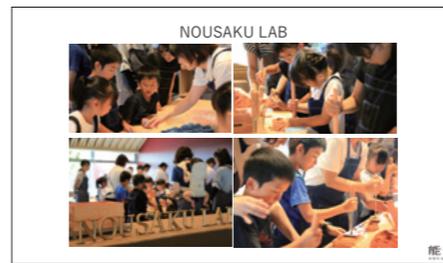


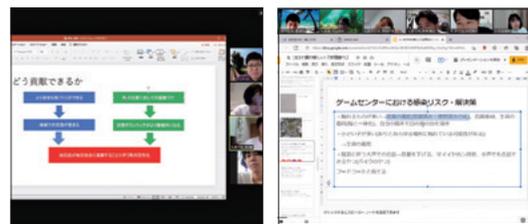
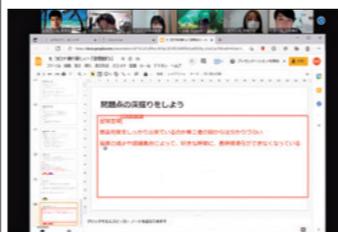
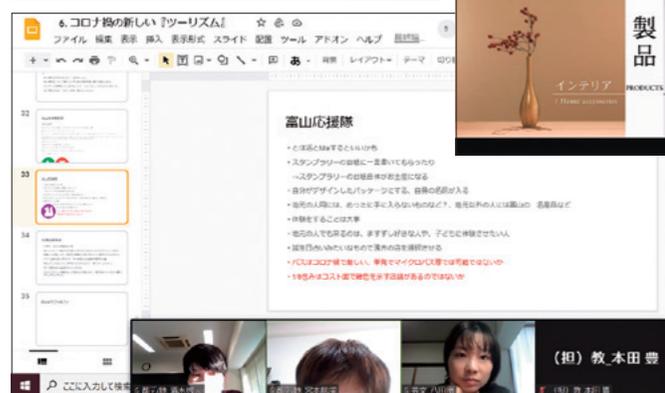
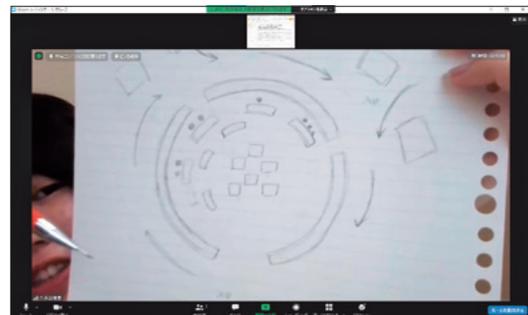
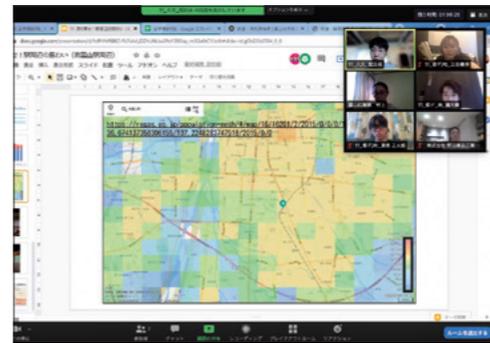
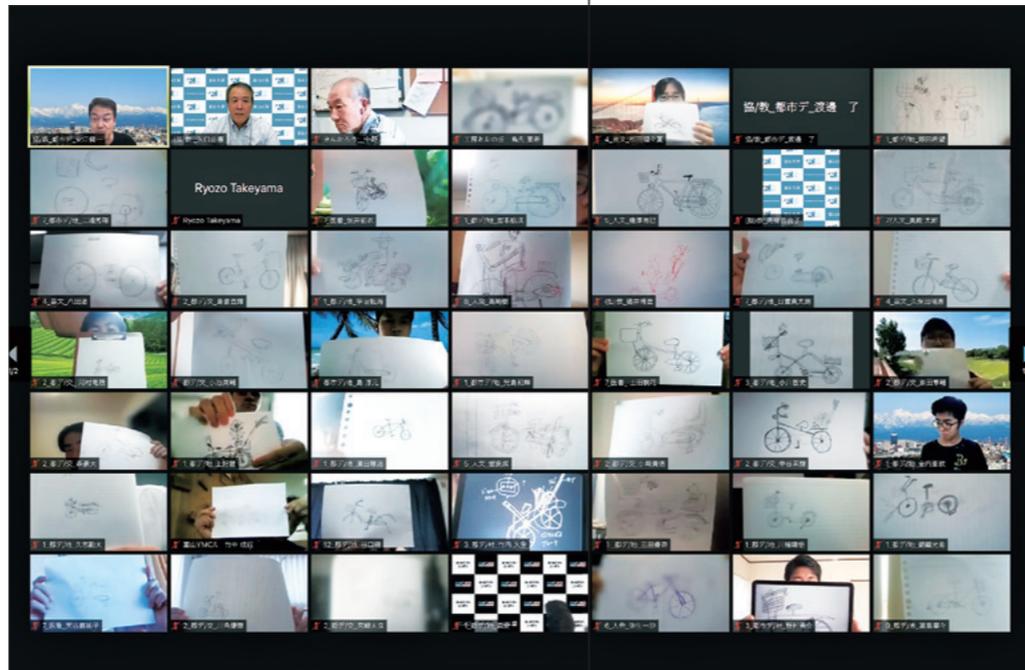
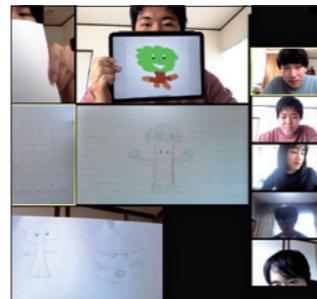
集中講義の2日目(9月27日)の冒頭、進行中の各グループワークに役立ててもらうため、講演会を企画。

## 『革新、デザインで市場を拓く』

能作 克治氏

(株)能作  
代表取締役社長





1. ゼロカーボンシティとやま
2. 様々な交通の連携から生まれる新たな観光
3. 歩いて楽しいまちなか回遊
4. コロナ禍の新しい『ライフスタイル』
5. コロナ禍の新しい『空間創り』
6. コロナ禍の新しい『ツーリズム』
7. 富山の中山間地区の新しい活用方法
8. 土地の成り立ちから考える 私たちの街の「防災・減災」
9. まちなかに必要な「思いやり・優しさ」のデザイン
10. データによる富山発見 - 新たなサービス・ビジネスの創出 -
11. 取り戻せ！ 駅周辺の賑わい (南富山駅周辺)
12. これが富山の『お土産だ！』

# 1 ゼロカーボンシティとやま

## 富山県の現状



富山県の面積の約67%にあたる  
284,000haが森林

多くが利用期を迎えているにもかかわらず、  
活用が進んでいない

森林によるCO2吸収ポテンシャル量  
約1.1億t

成長過程でより多くのCO2を吸収する特性  
を生かした循環システムができないか？…

図1 富山の森林分布 富山県  
<https://www.pref.toyama.jp/documents/6719/01224032.pdf>



## 森林の管理に関する課題

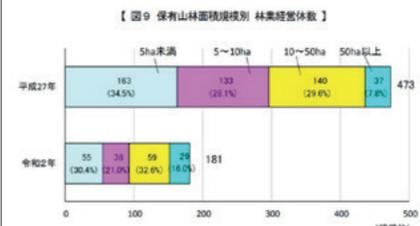


図9 保有山林面積規模別 林業経営体数 富山県  
[https://www.pref.toyama.jp/sections/1015/hb/nosen/index2020ka\\_kutei/2020nosenkaku-teichishiryo.pdf](https://www.pref.toyama.jp/sections/1015/hb/nosen/index2020ka_kutei/2020nosenkaku-teichishiryo.pdf)

課題：林業を営む人・団体の減少  
↓  
現状：スマート林業の推進  
活動支援金交付事業  
↓  
それでも増加につながっていない…  
↓  
若い人(子供達)が関心を持つことが重要！



## 提案 森林ESD (Education for Sustainable Development)

森林管理や県産木材の有効活用について学ぶ授業科目を作る。

科目の内容

- ・県産の木材の使用や森林管理の有意性について学ぶ、検討する
- ・森林内での授業
- ・木材の伐採、加工体験
- ・植樹とともにタイムカプセルを埋める。
- ・伐採した木材で伝統産業(※高岡の漆器)を用いた日用品やおもちゃを工作
- ・森林、県産の木材使用を意識してもらえるようにゆるキャラの案を募集



図3 氏家漆器 高岡観光ポータルサイト  
<https://www.takaoka.or.jp/>



## 施策効果



- ▶将来的に地域の主体となる人材の育成
- ▶林業への理解者を増やし、「富山の豊かな森」から始める持続可能な暮らしの実践者が育つ
- ▶暮らしと林業のつながりが身近になり、林業への需要が高まる
- ▶子どもの社会的責任感(持続可能な環境と経済)が育ち、富山の森林資源の効率的な循環の一員としての意識が高まる
- …森林ESDを通して、子どもたちに環境配慮の重要性と富山の森林資源活用の可能性を認識してもらい、森林資源の循環によるゼロカーボン促進する土壌を作る

→「富める山の国」富山がその名のごとく、森林資源を有効活用した  
ゼロカーボンシティの先駆けの存在に！

SDGsロゴ：Imacollabo「イマコラボ」：SDGsとは  
<https://imacollabo.or.jp/about/>

## 2 様々な交通の連携から生まれる新たな観光

既存のネットワークと  
新たな海路を用いた  
観光ルートの提案

### 1. 交通の現状

- ・ 車社会
- ・ 公共交通の接続が悪い
- ・ 陸上交通の選択肢は豊富
- ・ それぞれの交通の規模が小さい
- ・ 水上交通は未開拓



### 2. 観光の現状

- ・ 近年は個人旅行が増加
- ・ 交通インフラの拡充で、日帰り客が増加傾向
- ・ 非日常型から異日常・着地型の観光ヘトレンドが移行
- ・ 県内の観光地ランキング上位に環水公園、ひみ番屋街、海王丸パークがある

### 3. 提案のコンセプト

ターゲット：20-30代の男女

日帰りから長期滞在までプランを組み合わせる自由で観光できる

立山のみならず、富山湾の魅力も発見

海から眺めるとやま

### 4. 具体的ルート

## Toyama BAY Route

海上クルーズで海から富山を眺めよう

アルペンルートとともに長期滞在も可能



陸路は観光列車を活用

### 5. プラン提案

<p><b>10:00 環水公園を出発</b></p> <p>富山運河の景色を見ながら、先頭に向けて優雅なクルーズを堪能しよう。</p> 	<p><b>11:00 海から見る立山連峰</b></p> <p>立山連峰を海から見る事が多い。海からみるという特別な体験を味わおう。</p> 	<p><b>13:00 水見の海の幸を堪能</b></p> <p>新鮮な水産物アプリの海鮮丼を堪能しよう。</p> 	<p><b>15:15 べるもんで帰宅の途へ</b></p> <p>水見線の観光列車で、目を潤かそう。</p> 
クルーズ		鉄道	

出典) [https://www.toyama-governor.com/toyamaquasi\\_sakibonka/761-14](https://www.toyama-governor.com/toyamaquasi_sakibonka/761-14)

都市デザイン学部：仲村 大晟／塚田 希望／藤村 貴広／森 豪大／河村 竜晟 芸術文化学部：山田 健太郎

## 3 歩いて楽しいまちなか回遊

### 歩いて楽しいまちなか回遊

課題 富山市は車に依存したまちになっている

富山市民に歩いてもらうための打開策 コース共有アプリの開発！



▷▷▷

コース共有アプリ

- ・ お気に入りの散歩コースがある人
- ・ 土地の地形に詳しい人

### 歩いて楽しいまちなか回遊

このアプリのターゲット

- ・ 富山市民
- ・ 今散歩をしている人や散歩したいと思っている人

このアプリのコンセプト

毎日の散歩をちょっと楽しく

メリット

名所でもなんでもない、その人だけが知っている景色や風景を共有できる

コース共有アプリ

### 歩いて楽しいまちなか回遊

例えばこんな使い方

富山に住むユーザーAさん 自分がよく使う散歩コースを共有

① 毎年咲く花



③ 立山とイチョウの景色



② 鳥がよくいるポイント



コース中にあるスポットを3カ所をピンどめ



写真-1 コース共有アプリイメージ図  
出典) WordPressのための便利帳

### 歩いて楽しいまちなか回遊

こんな機能をそなえる

- ・ スポットのタグ付け機能
- ・ 路線バスの現在地や運行状況の表示
- ・ ベンチに名前を付けるプロジェクト

このアプリのデメリット

- ・ 新たなアプリをダウンロードしてもらうことはハードルが高い
- 富山市のとは活を利用し、とは活の機能の一部とする

写真-2 ベンチに名前を付けるプロジェクトイメージ図  
出典) 富山市民ベンチプロジェクトHPより



都市デザイン学部：久志 勲太／牧野 美月／小川 智史 人文学部：唐澤 南巳 人間発達科学部：岡野 翔野

## 4 コロナ禍の新しい『ライフスタイル』



都市デザイン学部：宇治 拓海／青柳 拓真／川角 優華 医学部：村上 歌菜

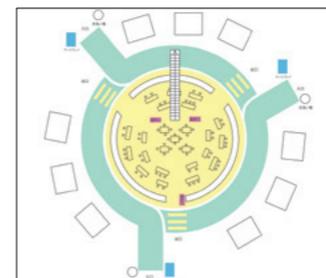
## 5 コロナ禍の新しい『空間創り』

### 空間創りを考えるにあたって

- 空間の定義**
  - ・コロナ禍において不特定多数が集まる場所の新しい空間創りが必要である。
- ライフスタイルの変化**
  - ・人々のライフスタイルと空間創りには大きなつながりがある。
- 三密対策**
  - ・個人の任意による対策になっている？
  - ・コロナの長期化によって意識が薄れている。

この三つをもとに空間創りについて考える。

### フードコートをテーマにした解決策

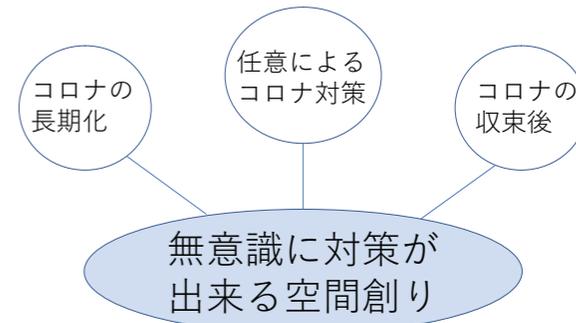


- ・人の流れを作る (ラウンドアバウト方式)
- ・タッチパネルを用いた混雑状況の確認
- ・入口と出口の固定
- ・座席を数種類用意
- ・出口付近に返却口を用意
- ・BGMや照明の雰囲気作り

### 解決策の一般化に向けて

新しい空間創りにおけるモデルとしてシステムは応用可能か？

- ・ラウンドアバウト方式
  - 駅や学校などの人の行き来が多いところで有用である。
- ・混雑状況の可視化
  - 密集になりやすい場所で有用である。
- ・しゃべらない雰囲気づくり
  - 密接になる場所で有用である。



都市デザイン学部：宮城 汐李／赤坂 勇紀／島 淳元／高橋 慶伍 医学部：坂井 佑衣 芸術文化学部：久保田 瑞恵

# 6 コロナ禍の新しい『ツーリズム』

### コンセプト

コロナ禍の新しいツーリズムとして…  
コロナ感染リスクの無い短距離の観光+地域の魅力再発見に着目!!!

### 解決策

まず寿司店舗が富山市内複数に存在 = 味、容器、製法、歴史が異なる

自分好みのまず寿司を見つけない!

軸	富山の名産であるまず寿司
対象	家族、カップル、2~5人、富山県民+近隣県(北陸など)
移動手段	マイカー+徒歩

### ツーリズムの流れ

今後の展望  
スタンプラリー参加店舗を増やし、食べ比べをより楽しめるようにする  
コスト問題を現実的にする

アプリを使ってまず寿司相性診断 → オリジナル台紙を配布 & 配布会場で検温アプリ上のみでもスタンプラリーができるように! → まず寿司の店舗を周る & 店舗周辺を散策 → スタンプラリーの特典ゲット! & 自分好みのまず寿司を発見!

### オリジナルアプリ

まず寿司店舗のマップ+周辺の観光情報  
伝統あるまず寿司の歴史情報  
AIによる味の好みの診断→好きそうな味のお店を選んでくれる!

富山まず寿司協同組合/まず寿司食べ歩きマップ <http://www.tovama-masuzushi.or.jp/information.html>

### まず寿司スタンプラリー

食べ比べができるように、1/8サイズパッケージシールを集める  
お店のパッケージを生かしたデザイン

8店舗分を集めて、特典ゲット!

源パッケージ <http://www.minamoto.co.jp/about> 高芳パッケージ <http://www.minamoto.co.jp/about>

都市デザイン学部：清水 啓人/剣持 拓未/宮本 航成 芸術文化学部：八田 浩

# 7 富山の中山間地区の新しい活用方法

### 中山間地域の自然×化学×廃校=Chusan-college

- 中山間地域は、衰退傾向にある… (7)
- 具体的には、空き家の増加… (6)
- 考察：自然や古民家などのポテンシャルを活かせていないのでは?
- 解決すべき中山間地域の課題は?  
中山間地域の衰退を止めるため、中山間地域のポテンシャルを活用すること!
- 私たちが提案するのは、廃校を再利用し、地域の自然と科学の融合がテーマとして掲げる体験型宿泊"Chusan-college"!

### Chusan-college 中山間、富山だからできる食育

- 富山特有の食材「米、マコモダケエゴマ」  
→ 農業体験。米は田植えだけでなく収穫も体験
- 伝統菓子「甘酒まんじゅう」  
→ 甘酒の発酵、伝統菓子を学ぶ
- 生物学や社会・歴史の学習に繋がる
- ジビエ・川魚
- 命を頂く大切さの体験

甘酒まんじゅう - Bing ima

都市デザイン学部：日置 真太郎/錦織 光希/川植 靖悟/三浦 秀翔/宮崎 太良 人文学部：真殿 太郎

### Chusan-college における廃校利用

- 各体験の事前研修の場所  
→ 森での遊びや体験を通じた知識を学ぶin-putの場
- 拠点や事務所、共有スペース  
→ 観光客の管理、観光客と地域住民の交流の場
- 宿泊施設  
→ 校庭を活用したキャンプ体験

### Chusan-collegeの役割

- Chusan-collegeは観光客にサービスを提供すると…  
→ 地域住民に対して雇用が発生、地域が活性化  
→ 体験の一環として地域の伝統を伝える、伝統を守る  
→ 観光客と地域住民との交流、中山間地域への移住の促進
- Chusan-collegeは、観光客と地域住民を通して中山間地域を活性化させる役割を担う

観光客 ↔ Chusan-college ↔ 地域住民

観光客 → Chusan-college: サービス提供  
Chusan-college → 観光客: 料金  
Chusan-college → 地域住民: 雇用の発生、地域活性化  
地域住民 → Chusan-college: 働き手、地域の伝統技術  
地域住民 ↔ Chusan-college: 地域資源の提供  
Chusan-college ↔ 地域住民: 交流、移住促進

図 chusan-collegeの役割と観光客、地域住民との関係

# 8 土地の成り立ちから考える 私たちの街の「防災・減災」

### 富山県の災害対策に対する不満

富山県は堂々の最下位  
県民の災害意識の低さが露呈している

順位	都道府県	スコア
1	宮城県	36.6
2	福島県	30.0
3	熊本県	27.9
...	...	...
44	秋田県	9.0
45	奈良県	8.4
46	滋賀県	7.9
47	富山県	5.5

DIAMOND online: 「自然災害に関心の高い」都道府県ランキング【2021完全版】、<https://diamond.jp/articles/-/280514>、2021。(最終訪問日: 2021.9.28.)

### 令和3年豪雪について

県内自治体の除雪予算

自治体	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績
富山市	2,818,945円	5,899,322円	8,899円
高岡市	2,938,121円	4,815,933円	4,839,943円
新城市	1,858,009円	2,818,000円	1,858,000円
魚津市	1,872,222円	1,850,461円	1,870,000円
氷見市	1,872,222円	1,879,951円	2,850,000円
滑川市	2,718,811円	2,545,911円	8,000,000円
南砺市	1,874,633円	1,844,111円	2,870,000円
砺波市	1,874,633円	2,870,000円	2,800,000円
小矢野市	4,620,000円	7,000,000円	1,810,000円
南砺市	2,878,677円	4,881,522円	追加予定なし
上市町	2,432,911円	4,000,000円	追加予定
立山町	42,911円	920,000円	追加予定
入道町	77,851円	943,211円	1,870,000円
朝日町	2,360,000円	5,000,000円	6,700,000円
舟橋村	1,121,911円	1,432,911円	21,000,000円
計	29,870,000円	43,862,911円	46,830,943円

ドカ雪に対する対策は万全とは言えない現実

### 災害意識の変化と安心な街を作るために

形体	学生団体
名称	富大学生ボランティア団体 (仮称)
理念	富山県民に災害意識を植え付けたい！ 安心な暮らしを送りたい！
協賛	県内の企業、市役所、社会福祉協議会 産学協同
活動内容	・ 自助の方法を学ぶ ・ 災害対策の啓発活動 ・ 災害ボランティア (雪かきボランティア) ・ 派遣要請アプリの作成 ・ 防災士の取得
活動範囲	初年度、五福キャンパス周辺 順次規模拡大予定 (まちなか、神明地区等)

作成するアプリの画面

### ボランティア団体作成における地域貢献度

より安全な街づくりができる → 街の災害に対しての意識づけ

地域での交流が高まる → 災害ボランティアが積極的になる

富山大学生が地域社会に貢献することに伴い  
地域防災の向上に繋がる

都市デザイン学部：長田 健/松尾 謙一郎/石田 翔稀/原田 隼輔

# 9 まちなかに必要な「思いやり・優しさ」のデザイン

### 「思いやり・優しさ」とは・・・

みんなが快適に過ごすことができる

富山県の現状

- 高齢者が多い(65歳以上の方が32.7%)  
令和2年10月1日現在
- 歩く人が少ない
- ベンチが濡れている、汚れている
- ベンチの数が少ない

ベンチの役割

- 移動の快適性
- 賑わいと滞留
- 近所の憩い

ベンチの設置

### ベンチの設置場所

公的施設 … 道路、公園、施設の敷地内等

道路：道幅が狭いところもあり、全ての歩道には設置はできない  
公園等：可能な場所には設置が進んでいる

民間企業 … 歩道に面した敷地内の空きスペース

市のHP等に掲載されることでイメージアップ・宣伝効果

### 考案したベンチ

- 傘もかけられる
- 3人掛け
- 利用する人が開閉することを取っ手近くに表示する
- 座面の濡れ防止カバー
- 撥水・断熱素材
- カバーが背もたれに
- 手すりにより高齢者が起居しやすい
- 全体的に曲線で、柔らかい印象に

### 効果

- 富山市全体の歩行者増加の促進につながる
- 企業の方や地域の方が憩いの場として活用できる
- 多く設置することで、歩行者や高齢者にとっては休憩の場になる

### 課題

- 置く場所によって、許可や申請などが変わってくる
- 費用などが検討をつけられない
- 必要とされ、利用してくれるかわからない

### 今後の展開

必要性の調査や 予算設定 → 現地調査や許可申請 → 設置後の 利用者数調査 → 設置場所の増大

都市デザイン学部：乙村 香那/濱田 慧治/高島 寧々/谷口 吟侍 医学部：土田 桃花

# 10 データによる富山発見 - 新たなサービス・ビジネスの創出 -

**富大生と企業/団体とまちづくりをコネクトする トミクト**

GOAL: 若者が住みたくまちをつくる。

CONCEPT: 声をつなぐ。

富大モデルの創出 → 富山の学生が住みやすく富山を好きになる

全国版の提供 + サービス応用 → 地域にあったサービス提供 全国の学生が住みやすく 防災・減災などへの応用

“五福地域の集中する若者(大学生)”

“車がなければ、ショッピングが満足にできない”

6,701人 27.9%  
富山市の19~24歳人口 24,037人

“富大生は市民の3割”を占める 6701人!!

若者3割が五福地域に集中しているにもかかわらず、…大学生が暮らしにくい ↓ 学生の声でまちをつくらう!!

富山生活のモヤモヤ → CONNECT ← 企業の利益

Q:より住みやすい環境

Q:企業の利益

若者が富山をより好きになるための情報システム

学生 → 企業/団体

学生 ← 企業/団体

学生が悩む・思うところをタグ付けをし投稿

パターン1 「直接アンケート」

パターン2 「情報リクエスト」

一定以上の共感度で企業・団体に公開

都市デザイン学部：上好 慧/金内 亜紋/中谷 菜樹/竹内 大登

# 11 取り戻せ！ 駅周辺の賑わい (南富山駅周辺)

南富山駅の現状

人通りが少ない  
シャッター街  
古い・昭和

なぜ廃れたのか

大型商業施設 + モータリゼーション → 魅力的な中心部へ人が流出!!

活気を取り戻すには?

商業施設を建設してもマリエ、ファオーレには敵わない?

目的・目標

土日、祝日に時間を使える街作り

昭和っぽさ(レトロ)を活かす

「南富山に行こう」と思える街作り

施策

“昼のマルシェ”

- フリーマーケット
- 野菜の直売
- 古着販売
- 洋服の移動販売

“夜の屋台村”

- キッチンカー
- ラーメン、おでん
- はしご酒
- 市電との景観

昼と夜で変化するイベントスペース

イベント用ポスター (※イメージ図)

市電の利用 大学生や観光客

周辺に居住の家族 土日・休日

都市デザイン学部：三田 優奈/瀬能 正太郎/瀧 大輝/小崎 貴徳 人文学部：舘 良成

# 12 これが富山の『お土産だ！』

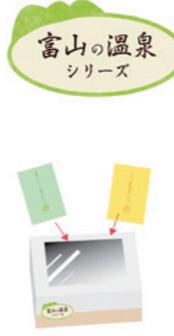
**商品名：富山の温泉シリーズ**  
 コンセプト

- ・富山県にある温泉をイメージした入浴剤
- ・富山の温泉について知ってもらう
- ・自宅で富山の温泉が楽しめる

ターゲット

- ・出張で来る会社員

→出張目的で来た会社員の方を買ってもらうことで、より多くの人に富山の魅力を知ってもらえる



**商品紹介：ポチ袋風呂剤**

- ・1セット：9個入り(3温泉×各3個) 980円  
 宇奈月温泉、みくりが池温泉、大牧温泉
- ・1温泉ごとバラ売り 各温泉110円



**例) 宇奈月温泉**

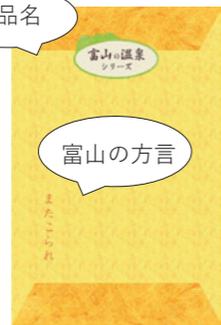
表



温泉の特徴

地名

裏



商品名

富山の方言

**販売戦略、展望**

- ・駅内やコンビニなどに特設コーナーを設ける
- ・該当する温泉のお土産売り場に置いてもらう
- ・販売ブースにどこの温泉かわかるような富山県温泉マップを設置する

- ・富山の温泉シリーズ第2弾、第3弾の作成  
 (庄川温泉、氷見温泉郷、雨晴温泉等)
- ・プライベートで温泉に来てもらう
- ・他県の温泉とのコラボ  
 例) 北陸温泉シリーズ



都市デザイン学部：森 愛/谷口 碧/島津 光佑 医学部：天谷 麻祐子 芸術文化学部：松田 理々夏

## ●連携・協力企業団体

- 富山市環境政策課
- 未来戦略室
  - 活力都市推進課
  - 都市再生整備課
  - 中心市街地活性化推進課
  - 農業振興課
  - 観光政策課
  - 企画調整室
- (交財) 富山市ファミリーパーク公社
- NPO きんたろう倶楽部
- 安達建設 株式会社
- 宮越工芸 株式会社
- NPO 富山応援隊
- 北陸電力 株式会社
- 株式会社 能作

- 富山大学生生活協同組合
- 富山県生活協同組合連合会
- 一般社団法人 Green Down Project
- 社団法人 黒部市社会福祉協議会
- 青年海外協力隊 富山県OB会
- 合同会社 HUGKUMI
- (公財) 富山YMCA
- 特定非営利活動法人 工房あおの丘
- TENKIN NOTE 「転勤ノオト」
- 前田薬品工業 株式会社 (裏門関連企業)
- 株式会社 LX DESIGN (裏門関連企業)
- 株式会社 スタジオシュワリ (裏門関連企業)
- 株式会社 ディスカバージャパン
- 北陸銀行 株式会社

## ●本学関係協力教員

富山大学 学術研究部 人文学系	大西 宏治
富山大学 学術研究部 経済学系	高桑 幸一
富山大学 学術研究部 芸術文化学系	奥 敬一
富山大学 地域連携推進機構 地域医療・保健支援部門 (コーディネーター)	藤村 裕子
富山大学 学術研究部 経済学系	岸本 寿生
富山大学 学術研究部 教育研究推進系	塩見一三男

富山大学 学術研究部 教育研究推進系	尾山 誠
富山大学 学術研究部 教育研究推進系	嘉瀬井恵子
桜美林大学 ビジネスマネジメント学群	渡辺 康洋
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	濱田 篤
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	川崎 一雄
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	柴柳 敏哉

## ●実行委員

### 【実行委員】

富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	渡邊 了
	(学部長／実行委員長)
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	矢口 忠憲
	(副実行委員長／授業担当)
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	佐伯 淳
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	安江 健一
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	並木 孝洋

### 【授業担当教員】

富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	立石 良
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	堀田 耕平
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	金山 洋一
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	本田 豊
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	猪井 博登
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	高柳百合子
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	王 永成
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	西村 克彦
富山大学 学術研究部 都市デザイン学系	松田 健二

## おわりに

富山大学では、これからの社会に求められる人材のスキルの一つとして、学際融合教育プログラム、デザイン思考によるイノベティブな協創力を上げています。このスキルは、全ての学部学生の必須要件であるとの考えから、「全学横断 PBL」科目は全学部の学生を対象として設計され、昨年度から夏期集中講義で開講され、今年度2回目をむかえたところです。また、この教育プログラムは応用展開として、新たな大学院プログラムの中にも取り組まれています。

「デザイン思考」によるイノベティブな問題解決・提案は、それぞれの学部・大学院で学年進行に伴い体験を重ねスキルアップしていくこと、何よりも地域の皆様方と連動させていただきながら、実際の現場で発見した真の問題を学生の柔軟な発想で具現化し、それをまた現場に落とし込んで検証するといったプロセスを繰り返すといった実践的な体験が重要なであります。

この度は、私どもの趣旨にご理解賜り、ご協力いただきました企業や行政、他学部の教員の方々には、この場をお借りして感謝申し上げます。本授業をはじめとしたPBL系の授業科目は、来年以降も継続して開講を予定しています。今後ともよろしくお願い申し上げます。